

人権・平和・環境

# あしだかわ

発行

南部生涯学習センター  
福山市沼隈町草深 1889 番地 6  
(沼隈支所3階)  
TEL 980-7713  
FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ ([URL:http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/](http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/)) から「あしだかわ」で検索!

テレビに出たまちづくりに学ぶ

第二講座

## 人と人をつなげる“まち”の場作りへ



### 3月15日(金) スーパーマーケット

地域で営む

六年前にスーパーマーケットが撤退。街の店がゼロ軒になり買い物に困る高齢者が続出。そこで、まちづくりでスーパーの運営に乗りだしました。さらに、ここを地域福祉の拠点に：



開店の日(昨年7月22日) 店は買い物客で賑わいました。

熊野学区まちづくり推進委員会 委員長

## 貝田 哲郎 さん

第三講座

## 獣害対策からコミュニティ作りへ ～青空サロンに集う 元気と笑顔～



### 3月22日(金)



安田さんたちの取り組みが雑誌で紹介されました。(Be-Pal 3月号より)

島根県美郷町 産業振興課

## 安田 亮 さん

美郷町は島根県の山間地に位置し、過疎高齢化が進む街。近年はイノシシやサル等の被害が深刻です。そこで、地域をあげて対策と資源化を取り組み、猪肉が東京のレストランで評判になりました。



受講 無料



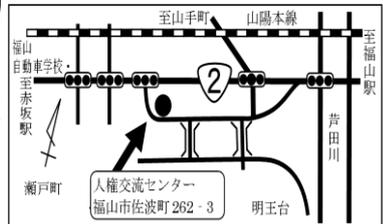
### 入門 町内会の底力

ピンチをチャンスに変える地域づくり 人材養成 講座

いすれも 会場 人権交流センターホール

時間 19時30分～21時

主催 南部生涯学習センター TEL 084(980)7713



2月18日(月), 人権交流センターにおいて, 鹿児島県鹿屋市柳谷<sup>やねだに</sup>公民館館長<sup>とよしげてつろう</sup>の豊重哲郎さんを講師に迎え, 「ピンチをチャンスに変える地域づくり人材養成講座」を開催しました。

柳谷地区, 通称「やねだん」は, まちづくりの先進地として全国的に注目されています。やねだんのまちづくりの主役は住民です。しかし, その住民を動かすためにはどうすれば良いのか。豊重さんは“感動”が人を動かすのだと話されました。豊重さんは, 集落の有線放送を使い, 母の日や父の日に子どもから親への感謝の手紙を読み上げるという取り組みを実施しました。その放送はやねだんを感動で包み, 豊重さんに感謝するひとがたくさん現れました。これはほんの一例ですが, 人を動かすための取り組みを2年間続けられたそうです。そして, 実際に住民が主役のまちづくりが始まりました。まずは, 住民が集う場作りから。そして次は自主財源の確保。サツマイモを育て, そのデンプンを業者に販売する事業を実施しました。さらに, サツマイモで作った焼酎を販売。この事業の収益は, 住民にボーナスを支払えるほどに拡大しました。さらに, その収益でさまざまな地域課題に取り組みました。住民自らの手で地域課題を解決することで, 感動を生み, 住民の行動に結びつきました。

住民が率先して行動するまちづくりは, 理想的なまちづくりですが, 容易なことではありません。豊重さんは「半径 10 メートル以内の住民の名前を覚えることから始めましょう」と話されました。そうすれば, 共通の話題が見え, 「何かしよう」と行動につながる。行動が感動を生み, 感動が次の行動を生み出す。まちづくりの大きなヒントを得ることができたような気がします。

やねだん地区の  
取り組みに学ぶ

入門「町内会の底力」  
ピンチをチャンスに変える地域づくり人材養成講座



豊重さんのまちづくりへの情熱が  
ひしひしと伝わってきました。

南部っちゃんやるDAY

沼隈図書館 TEL: 987-0313

「日本語を楽しむ～みんなで朗読会～」

とき 3月17日(日)  
14:00~15:00

ところ 沼隈図書館

内容 小説・古典・絵本などの自分の好きな文章を3分程度朗読。  
聞きたい方も大歓迎!

対象 どなたでも

持参物 朗読したい本

申込み 来館または電話で



瀬戸公民館 TEL: 951-1003

欲張りコミュニケーション

とき 3月20日(水)  
9:30~14:00

ところ 瀬戸公民館

内容 9:30~11:00  
手打ちそば講座! 見学OK♪  
定員5人 材料費1,000円  
10:00~11:00  
お悩み解決! あなたもメイク上手に♪  
11:00~  
手打ちそば処『瀬戸庵』オープン♪  
限定50食 一杯200円  
13:00~  
民謡コンサート♪  
出演 民謡たんぽぽサークルの皆さん



# 第3回 ローズパーティー 実施報告

南部管内の小学生が作った折りばらで  
大きな折りばらアートをつくりました！



3月2日（土）、3日（日）の2日間、沼隈図書館とアリスト広場を会場に「第3回ローズパーティー」を開催しました。たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

沼隈図書館司書によるばらにちなんだ絵本の読み聞かせの様子。ローラといっしょにクイズやじゃんけん大会もしました。



フラワーアレンジメント講座では、小学生から大人まで、みなさん素敵な作品が出来上がりました。



作品展には、南部管内17学区から、ばらをモチーフにした作品が100点以上集まりました。ご協力ありがとうございました。



3月は、まだばらの花の咲いていない時期ですが、たくさんの方に囲まれ、一足先に春を感じることができました。

押し花のしおり作り講座の様子。きれいな押し花でそれぞれにお気に入りの作品ができました。



東日本大震災復興祈念パネル展。盈進高校ヒューマンライツ部による活動報告など、被災地の現状を改めて見つめられるパネル展でした。

アリスト広場では、ばら応援市＆南部ならではの地産市を開催しました。ばらグッズや、南部地域ならではの地産品が並びました。



おいしいお米を使ったもちつき体験もありました。外国人の方や子どもたちは、生まれて初めての体験になりました！

岡本笑道塾による書道パフォーマンスの様子。音楽に合わせて軽快に書いていきます。何という文字ができていくのでしょうか。



できあがった文字は「薔薇」の二文字でした。漢字で「ばら」と書くのはとても難しいと思いますが、見事に書きあげられました。

女性消防団による紙芝居『ローズちゃんのかじのもとみ〜つけた』。楽しみながら、火事の怖さや予防の方法を学びました。



最後を締めくくるローズコンサートでは、コーラスグループラ・フォンターナさんの美しい歌声に癒されました。

# 山本瀧之助の足跡を訪ねて

## 【20】120回の「全国青年巡回講習会」

瀧之助が主催した第1回の青年講習会は、1924年（大正13年）2月7日から10日間、福山市胎蔵寺で開かれた。参加者は、17歳から24歳までの男子44名。そのほとんどが農家出身で、尋常小学校を卒業したもの、あるいは、さらに2年程度の高等小学校を卒業した者であった。そもそもこの講習会の目的は、家庭の事情で中等学校に進学できなかった青年たちに教育の機会を与え、町村の青年団の幹部を養成することにあった。瀧之助が歩んだ青年のころの跡を歩ませたくないという思いと、彼が沼隈郡で行った夜学会や実業補習学校の経験から考え出した講習会であった。

この講習会は、2日から10日間の宿泊講習会で、1930年（昭和5年）2月までの6年間、39府県を120回、年間約20回のペースで、全国を会場に続けられた。第1回目は、瀧之助が立ち上げた「青年講習所」（2回目から「巡回青年講習所」に改める）が主催し、2回目から各府県が主催者に加わり、第16回から財団法人日本青年会館も主催者に加わっている。

講習内容は、国民精神・地方自治・農業問題・郷土史などの一般教養のほか、新聞記事の読み方・電気の話・時事問題など実用的なものも行った。また、時には当時まだ珍しい活動写真（映画）の上映もあった。講師は、師範学校の校長や中等学校教諭、寺の住職などの地元講師のほか、外部から各分野の専門家を招いた。第2回の講習会では、作曲家山田耕作を招き「音楽の聴き方、歌い方」の講演を聴いている。

主催者であり常任講師である瀧之助は、いつも質素な詰襟服を着、きちんと正座し、青年たちを車座に座らせ、過ぎし日の悩み多かった青年時代のことを淡々と話した。難しい言葉は使わず、人間の価値や生き方について熱っぽく話した。また、手紙のやりとりをすることを勧め、彼自身も教え子から来た手紙は、必ず返事を書いた。毎週のように来る同一人物からの手紙にも必ず返事したという。悩みに対しても親身に耳を傾け、勇気付けるアドバイスをした。こうして、この講習会を通じ深い師弟関係を持った青年は、5,000人を越え、日本各地で青年団のリーダーとして活躍し、瀧之助が当初狙った通りの成果を見るに至った。



車座になったの講習会

執筆：上田 靖士（山本瀧之助研究会）

ポ  
ン  
カ  
の  
カ  
ワ  
カ  
カ

2012年度も残すところあと少しとなりました。この1年間、南部生涯学習センターでは、さまざまな事業を実施してきました。人権問題講演会や、環境に関する講座、こども大学、まちづくり人材育成講座、放課後子ども教室の推進など…。

生涯学習の主役は、市民ひとりひとりです。ひとりひとりの「学び」が活気あるまちづくりにつながります。これからも、1人でも多くの方の心に「学び」の火が点くような場を提供していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

